

2025 年 7 月 10 日
SCSK株式会社

CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」で、 最高評価である「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、企業や自治体の環境情報開示を推進する国際的な非営利団体 CDP より、サプライチェーン全体の気候変動対策を積極的に推進する企業として、最高評価である「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定されました。

2024 年度は、全世界で 24,800 社を超える企業が CDP 気候変動質問書の回答を行っており、SCSK は CDP の気候変動分野の情報開示においても、最高評価である「A リスト」企業として選定されております※1。

※1 <https://www.scsk.jp/news/2025/pdf/20250212i.pdf>



サプライヤーエンゲージメント評価とは

サプライヤーエンゲージメント評価は、CDP 気候変動質問書の5項目「サプライヤーエンゲージメント」「スコープ3 排出量」「リスク管理プロセス」「ガバナンスとビジネス戦略」「目標」のうち、サプライヤーエンゲージメントに関連性の高い質問に基づいて、企業の取り組みを評価するものです。

SCSK グループの環境に関する取り組み

SCSK グループでは、マテリアリティの一つとして「地球環境への貢献」を謳っており、気候変動への対応を重要かつ優先的に取り組む経営課題として位置付けています。

温室効果ガス排出量の削減に向けて、SBT イニシアチブ※2 の認定を取得した中長期的な削減目標として、SCSK グループにおける排出量(スコープ1+2)は、2030年度までに2019年度比で47%削減、2050年までに100%削減、当社の事業活動に関連する他社の排出量(スコープ3)は、2030年度までに2019年度比で28%削減を設定しています。

幅広い業界にわたるお客様やパートナー企業と連携しながら、温室効果ガス排出量削減や環境負荷低減に取り組むことで、気候変動への適応、環境に配慮した事業活動を実践し、より良い地球環境の実現に貢献してまいります。

・SCSK グループの気候変動への対応

<https://www.scsk.jp/corp/csr/environment/index.html>

※2 SBT イニシアチブ:世界の平均気温の上昇を抑えるために、企業に対して科学的な知見と整合した削減目標を設定するよう求めるイニシアチブ。

SCSKグループのマテリアリティ

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「地球環境への貢献」に資するものです。

－温室効果ガス排出量削減や環境負荷低減への取り組みを通じて、より良い地球環境の実現に貢献

・SCSKグループ、経営理念の実践となる 7 つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 志村

TEL:03-5166- 1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。